

土木・環境工学系 土木工学コース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

土木・環境工学系では、次のような方々を求めます。

- ・理工系基礎学力を有し、論理的かつ多面的な発想ができること
- ・土木技術や社会基盤、都市、環境に関連する幅広い知識を有し、自ら学び研究する意欲を有すること
- ・国際的に通用する研究開発を進めるために必要な語学力を有していること
- ・土木・環境工学分野における高度な技術者・研究者として、国際社会に役立つ技術の発展に貢献する高い志を有すること

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、土木・環境工学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、土木・環境工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 先端的理論・技術の実践

博士論文研究において、先端的な実験・解析手法を取り入れることにより、土木工学における高度な理論と技術を駆使して、科学技術のフロンティアを開拓する能力を修得する。

B) 国際的に活躍できるコミュニケーション能力の養成

本課程におけるコースワーク（講究，研究発表など）はほぼすべて英語化されている。博士論文や論文発表も英語化されており，これらを通して国際的に活躍するためのコミュニケーション能力を修得する。

C) 問題解決力・リーダーシップの養成

博士論文研究を通して高い倫理観に基づく問題解決力やリーダーシップを涵養する。主要分野における分野別セミナー，更には海外の協定校等における大学院生や専門家との研究交流や共同研究への参加を通して国際的な共同研究・事業を先導する能力を修得する。

ディグリー・ポリシー（修得する力）

土木工学コースでは，次のような力を修士課程より高い基準で修得することができる。

- ・幅広い教養と技術者倫理，国際的視野をもって物事を多面的かつ重層的に見る能力
- ・土木・環境工学分野に関わる幅広い専門的学理，知識，技術を高度に発展させ，創造的提案を実現する能力
- ・地域性や歴史性を見据えながら，豊かな公共空間を計画・設計する創造性
- ・総合的な視点に立ったエンジニアリングデザインとマネジメントの基礎能力
- ・チームを率いてプロジェクトを企画・立案・遂行する能力
- ・日本語および英語で論理的な記述，討議，発表ができるコミュニケーション能力と，それに基づいたリーダーシップ